

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
102 - 110	高等学校	公民科	公共	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
183 第一	公共 710	高等学校 公共		

## 1. 編修の基本方針

本書は、教育基本法第2条に示す教育の目標を達成するために、下記のような基本方針に基づいて編修しました。

- (1) 18歳選挙権・18歳成年を見据え、社会を構成する一員として、必要な知識を身につけ、主体的に考え、行動する力を身につけられるようにしました。
- (2) 思考力・判断力・表現力を育成するため、問題意識をもてる「問い」と「資料」を重視しました。
- (3) 読解力の育成を重視し、高校生が「読んでわかる」文章をこころがけ、自分の言葉でまとめられるようにしました。
- (4) 公共の見方・考え方や選択・判断の手がかりとなる考え方について、具体例を用いて丁寧に示し、学習の中で活用できるようにしました。
- (5) 学習内容に関連する図表・資料を多数取り上げ、高校生の主体的な学びを促すようにしました。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
前見返し Study MAP 18歳になったら	<ul style="list-style-type: none"> <li>・18歳選挙権・18歳成年を見据え、社会に参画するための手法を概観できるようにしました(第1号)</li> <li>・18歳選挙権・18歳成年を見据え、主体的に社会の形成に参画すべきことを説明しました(第3号)。</li> </ul>	見返し①～③  見返し①～③
第1編 公共の扉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共の見方・考え方や選択・判断の手がかりとなる考え方について、具体例を用いて丁寧に示しました(第1号)。</li> <li>・青年期の課題として、自立とアイデンティティの確立、社会参画、生きがいとキャリアデザインなどを扱い、職業観・勤労観が身につくよう配慮しました(第2号)。</li> <li>・功利主義や義務論、正義論などを思想家の考えから丁寧に取り上げるとともに、身近な事例を通じて理解できるようにし、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにしました(第3号)。</li> <li>・人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務といった公共的な空間における基本的原理について、思想家の考えや現代社会の事例から丁寧に示すことで、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにしました(第3、4号)。</li> <li>・祭りや年中行事などの生活の中にある伝統文化や日本の伝統的な考え方を取り上げ、伝統と文化を尊重する態度を養えるよう留意しました。また、あわせて異文化理解の重要性についても取り上げ、それぞれの固有の文化を尊重する態度が養えるよう配慮しました(第5号)。</li> </ul>	p. 24～58  p. 6～17  p. 24～35  p. 36～51  p. 18～23
第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1編で学習した公共の見方・考え方や選択・判断の手がかりとなる考え方をを用いて考察させる課題を随所に設けました。幅広い知識と教養を身につけるために、現代社会に対する関心を高め、主体的に考察することの大切さを自覚させるようにしました(第1号)。</li> </ul>	p. 59～92

<p>第1章 法的な主体となる 私たち</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国憲法第13条「個人の尊重」や第27条「勤労の権利」を理解させるとともに、新しい人権として「自己決定権」を丁寧に扱うことで、個人の価値の尊重や勤労を重んずる態度を養えるようにしました（第2号）。</li> <li>・消費者問題について丁寧に取り上げ、契約を履行することの重要性や契約によって生じる様々な責任について理解できるようにしました。また、消費者基本法などの法整備についても取り上げ、消費者の権利の尊重と消費者の自主および自律の精神を養えるようにしました（第2、3号）。</li> <li>・法や規範の意義と役割、司法制度のあり方について丁寧に取り上げ、主体的に社会の形成に参画するための良識ある公民として必要な能力と態度を養えるようにしました（第3号）。</li> <li>・基本的人権と公共の福祉のかかわりや具体的な法整備などの学習を通じて、男女がともに主体的に社会に参画する態度を養えるよう留意しました（第3号）。</li> </ul>	<p>p. 64～79</p> <p>p. 80～84</p> <p>p. 62～79, 85～92</p> <p>p. 66～67, 70～71</p>
<p>第2編 自立した主体として よりよい社会の 形成に参画する私 たち 第2章 政治的な主体とな る私たち</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1編で学習した公共の見方・考え方や選択・判断の手がかりとなる考え方をを用いて考察させる課題を随所に設けました。幅広い知識と教養を身につけるために、現代社会に対する関心を高め、主体的に考察することの大切さを自覚させるようにしました（第1号）。</li> <li>・国際社会で活躍する日本人を取り上げ、キャリアデザインについて考えさせることで、職業観・勤労観が身につくよう配慮しました（第2号）。</li> <li>・主権者として政治に対する関心を高め、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにしました（第3号）。</li> <li>・国際紛争の諸要因や紛争・対立の事例、国際紛争の解決に向けた取り組みを丁寧に取り上げるとともに、人種・民族問題は基本的人権に関わる宗教や生き方の問題であることに触れ、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにしました（第3、5号）。</li> <li>・国際社会における日本の果たすべき役割や日本人の生き方について考察できるようにし、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにしました（第5号）。</li> </ul>	<p>p. 94～156</p> <p>p. 155～156</p> <p>p. 94～106</p> <p>p. 123～125, 145～154</p> <p>p. 155～156</p>
<p>第2編 自立した主体として よりよい社会の 形成に参画する私 たち 第3章 経済的な主体とな る私たち</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1編で学習した公共の見方・考え方や選択・判断の手がかりとなる考え方をを用いて考察させる課題を随所に設けました。幅広い知識と教養を身につけるために、現代社会に対する関心を高め、主体的に考察することの大切さを自覚させるようにしました（第1号）。</li> <li>・現代社会の特徴や企業の現状、起業の意義をふまえたうえで、将来に向けた職業観を養えるようにしました（第2号）</li> <li>・労働基本権や労働三法などの労働法制を丁寧に取り上げるとともに、非正規雇用の増加や女性の労働環境など、今日の労働をめぐる諸問題を深く理解できるようにすることで、個人の価値の尊重や男女の平等、職業および勤労を重んずる態度を養えるようにしました（第2、3号）。</li> <li>・企業は利潤の追求だけでなく、企業統治の実現や社会的責任を積極的に果たし、環境保全や地域社会における慈善事業、芸術・文化への支援活動などを行うことも求められていることを示しました（第3、4、5号）。</li> <li>・公害や地球環境問題を通じて、環境保全のための世界的な行動や持続可能な社会を形成する必要性を示しました（第4号）。</li> </ul>	<p>p. 160～258</p> <p>p. 170～179</p> <p>p. 160～169</p> <p>p. 173～179</p> <p>p. 196～197, 248～252</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル化する経済について丁寧に取り上げた上で、ODA など日本が国際社会で果たす役割が大きいことを理解できるようにすることで、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるよう配慮しました（第5号）。</li> </ul>	p. 232～247, 256～258
第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1編で学習した公共の見方・考え方や選択・判断の手がかりとなる考え方をを用いて考察させる「ケーススタディ」を中心に展開しました。持続可能な社会の形成に参画するという観点から、「ケーススタディ」を通じて、幅広い知識と教養を身につけるとともに、現代に生きる人間としてのあり方や生き方について考察できるよう配慮しました（第1号）。</li> <li>・地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命倫理、情報、国際社会といった現代社会における諸課題を取り上げ、これらの課題解決に向け、様々な視点から考察できるよう配慮しました（第4、5号）。</li> </ul>	p. 262～273  p. 264～273

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・学校教育法第51条1号「国家及び社会の形成者として必要な資質を養うこと」、また、第3号「社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うこと」などの規定をふまえ、私たちの暮らす社会におけるさまざまな法令を実感できるよう、巻末資料として日本国憲法や労働基準法をはじめとする各種法令を紹介しました。
- ・課題探究学習について、学習の手順の一例を「スキルアップ」としてまとめ、学び方が身につくよう配慮しました。
- ・書体はユニバーサルフォントを用いたほか、図版や地図の作成にあたってはすべての生徒にとって学びやすいカラーユニバーサルデザインに配慮しました。
- ・読みにくい漢字には積極的にルビを添え、一般的な教養も身につくよう配慮しました。
- ・広い紙面を有効に活用するため、ページの開きがよく耐久性も高いPUR製本を採用しました。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
102 - 110	高等学校	公民科	公共	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
183 第一	公共 710	高等学校 公共		

<p>1. 編修上特に意を用いた点や特色</p> <p><u>1. 学習内容を優先したページ配分</u> 現代社会の諸課題について、学習項目の漏れをなくし、体系的な学習ができるように配慮しました。また、単なる知識の習得に終わらせることなく、参照ページを丁寧に入れて、それぞれが相互に関連していることがわかるようにしました。</p> <p><u>2. 学習内容への理解と読解力を養う「問い」</u> 各節の冒頭には「課題」を設け、「課題」をもとに学習を進めることで、基本的な知識がおさえられるようにしました。また、各節の最後には、「ふり返し」を設け、学習内容に関連のある思考力・判断力の観点からの問いを設けました。また、図表にも随時、「よみとき」という形で問いを設け、図表・資料の読み解きにも力を入れました。</p> <p><u>3. 「公共」での見方・考え方がおさえられる第1編</u> 「公共」の見方・考え方である「幸福、正義、公正」や選択判断の手がかりとなる考え方、公共的な空間における基本的原理の解説を丁寧に取り上げ、第2編以降でも活用できるように工夫しました。また、第1編の最後には、これらの見方・考え方が日本国憲法でどのように生かされているかを取り上げ、憲法が私たちの生活に根づいたものであることを理解できるようにしました。</p> <p><u>3. 主題学習が効果的におこなえる第2編</u> 第2編では、よりよい社会の形成に参画するために、現実社会の諸課題にかかわる13の主題を設定しました。各主題では「学習課題」を設け、本文学習を通じて、「学習課題」に取り組めるように工夫しました。また、第1編で身につけた見方・考え方ははたらかせる問いも多く取り上げました。</p> <p><u>4. 主体的に課題探究活動に取り組める第3編</u> 課題探究活動の「ケーススタディ」では、課題の解決に向けて事実をもとに協働して考察、構想し、その解決策の妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠をもとに自分の考えを説明、論述できるように工夫しました。また、高校生が実際に調べていく本文展開とし、読んでわかるように、取り組みやすい工夫もしました。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 対照表			
図書構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
第1編 公共の扉			
第1章 公共的な空間をつくる私たち			
Ⅰ 公共的な空間と人間とのかかわり	A-(1)		
①社会に生きる私たち		p. 6～11	1
②個人の尊厳と自主・自律		p. 12～13	1
③多様性と共通性		p. 14～15	1
④キャリア形成と自己実現		p. 16～17	1
Ⅱ 社会に参画する自立した主体として			
①伝統や文化とのかかわり		p. 18～23	1
第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方	A-(2)		

I 人間としてのあり方生き方についての探求			
①人間と社会のあり方についての見方・考え方	A-(2)	p. 24～25	1
②実社会の事例から考える～環境保護		p. 26～27	1
③実社会の事例から考える～生命倫理		p. 28～29	1
II 選択・判断の手がかりとなる倫理的価値			
①公共的な空間を形成するための考え方		p. 30～32	1
②よりよく生きる行為者として活動するために		p. 33～35	1
第3章 公共的な空間における基本的原理			
I 自立した主体となることに向けて	A-(3)		
①人間の尊厳と平等		p. 37～39	1
②個人の尊重		p. 40～41	1
③民主政治の基本的原理		p. 42～45	1
④法の支配		p. 46～49	1
⑤自由・権利と責任・義務	p. 50～51	1	
II よりよい公共的な空間づくりをめざして			
①世界のおもな政治体制		p. 52～54	1
②日本国憲法に生きる基本的原理		p. 55～58	1
第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に 参画する私たち			
第1章 法的な主体となる私たち			
主題1 法や規範の意義と役割	B-(1)		
①私たちの生活と法		p. 62～63	1
②法と基本的人権		p. 64～67	1
③自由・平等と法・規範		p. 68～72	1
④法をよりよく変えていくために	p. 73～79	1	
主題2 契約と消費者の権利・責任			
①さまざまな契約と法	p. 80～81	1	
②消費者の権利と責任	p. 82～84	1	
主題3 司法参加の意義			
①裁判所と人権保障	p. 85～92	1	
第2章 政治的な主体となる私たち			
主題4 政治参加と公正な世論の形成	B-(2)		
①選挙の意義と課題		p. 94～97	1
②政治参加と世論形成		p. 98～106	2
③国会と立法		p. 107～109	1
④内閣と行政の民主化		p. 110～113	1
⑤地方自治と住民の福祉	p. 114～120	1	
主題5 国際社会と国家主権			
①国家と国際法	p. 121～122	1	
②国境と領土問題	p. 123～125	1	
③国際連合の役割と課題	p. 126～131	1	
主題6 日本の安全保障と防衛			
①平和主義と安全保衛	p. 132～139	1	
②核兵器の廃絶と国際平和	p. 140～144	1	
主題7 国際社会の変化と日本の役割			
①今日の国際社会	p. 145～148	1	
②人種・民族問題と地域紛争	p. 149～154	1	
③国際社会における日本の役割	p. 155～156	1	

第3章 経済的な主体となる私たち			
主題8 雇用と労働問題			
①私たちと経済		p. 160～161	1
②労働者の権利と労働問題		p. 162～169	1
主題9 社会の変化と職業観			
①技術革新の進展と産業構造の変化		p. 170～172	1
②企業の活動		p. 173～179	1
③農林水産業の現状とこれから		p. 180～187	1
主題10 市場経済の機能と限界			
①市場経済と経済運営		p. 188～190	1
②市場経済のしくみ		p. 191～195	1
③経済発展と環境保全		p. 196～197	1
④経済成長と国民福祉		p. 198～201	1
主題11 金融のはたらき	B-(3)		
①金融の意義や役割		p. 202～207	1
主題12 財政の役割と社会保障			
①政府の経済的役割と租税の意義		p. 208～213	1
②社会保障と国民福祉		p. 214～221	1
主題13 経済のグローバル化			
①国際分業と国際貿易体制		p. 222～225	1
②国際収支と為替相場		p. 226～231	1
③経済のグローバル化と日本		p. 232～236	1
④地域的経済統合の動き		p. 237～243	1
⑤国際社会における貧困や格差		p. 244～247	1
⑥地球環境問題		p. 248～252	1
⑦資源・エネルギー問題		p. 253～255	1
⑧国際社会のこれから		p. 256～258	1
第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち			
課題探究活動の展開例		p. 262～263	1
①地球環境問題		p. 264～265	1
②資源・エネルギー問題		p. 266～267	1
③生命倫理	C	p. 268～269	1
④情報		p. 270～271	1
⑤国際社会の課題		p. 272～273	1
スキルアップ		p. 274～277	1

※年間授業時数を65時間として配当しています。